

2021年5月23日 久宝教会 聖霊降臨日(ペンテコステ)礼拝

メッセージ「見えない力によって生かされて」

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 14章 18-27 節

使徒言行録 2章 1-13 節

今日は「ペンテコステ(聖霊降臨日)」です。しかし、「ペンテコステ」と言われても、何のことか分からない方も多いかと思いますので、週報の中に「ペンテコステって何ですか」という短い紹介文を挟んでおきました。色々な説明があると思いますが、イエス・キリストが生まれたのを祝いする12月の「クリスマス」と、イエス・キリストが十字架に架けられて処刑され、3日目に復活されたことを祝いする「イースター」と並んで、聖霊が与えられて教会が始まったことを祝いする日として「ペンテコステ」は、キリスト教の三大祝日と言われています。

『使徒言行録』の2章には、聖霊が降った時の様子が、とてもドラマチックに描かれています。2節からですが、家の中に、突然激しい風、暴風が吹き荒れるような音がして、一人一人の上に燃える炎のような舌が、いくつもいくつも分かれ分かれに現れた。すると皆は聖霊に満たされて、霊が語らせるままに、他国の言葉、違った言葉で語り出した、というのです。まるで演劇や映画を見ているかのような光景が想像できますが、実際には何が起こったのでしょうか。「ベロのような形をした炎」ではなく、「炎のような舌」は、何分間くらい現れていて、どうやって姿を消して行ったのか、など、考え出すと分からないことばかりです。

しかし、聖書に記されているお話は、2000年前の人々が、口から口へと語り伝えた物語が、後に書き記されたものですので、実際に、そこで何があったのか、ということにあまりこだわっても、「分からない」としか言えないことも多くあります。このお話で大切なこと、告げられていることは、「迫害を恐れてビクビクしていた弟子たちに、聖霊が確かに与えられたよ」ということなのではないでしょうか。

「霊」「聖霊」は「風」や「息」と同じ言葉です。それらは目に見えませんが、確かにあるものです。日本語で言う所の、私たちの心も、魂も、「元気」や「勇気」などの様々な気持ちも、目には見えませんが、確かにあるものです。そんな神様からの「霊」「命」や、「勇気」「やる気」が弟子たちに与えられ、様々な言語の違いという壁を乗り越えて、一つの所に集まってビクビクしていた所から、外に向かって一步を踏み出していくことが出来た。それがここに記されているペンテコステ、聖霊降臨の物語なのだと思います。

しかし、例えば、『ヨハネによる福音書』20 章では、復活されて弟子たちの前に現れたイエス様が、彼らに直接息を吹きかけて「聖霊を受けなさい」と言われた場面も記されています(20 節)。ルカが『使徒言行録』に書き記したのとは大分異なった聖霊降臨の描き方です。それらは何を表しているのでしょうか。そこではイエス様の息の中に特別な力があり、それが弟子たちに吹きかけられたことによって聖霊が弟子たちの中に入り込んだかのようにも思えますが、思い返してみると、そもそも人間は土の人形であった所に、神様がその息を吹き入れて、生きる者とされたのでした(創世記 2:7)。神様からの命の息を頂いて、全ての生きとし生けるものは、この地上での生活を営み、そしてその息を引き取る時に、地上での歩みを終えていきます。

そのことを考える時、神様からの命の息、与えられている聖霊は、それが炎のような形(使徒 2:3)や、鳩のような形(マルコ 1:10)で、改めて与えられるのを待たなくても、全ての人には既に与えられていると言うことが出来ます。時にその神の息、霊の火は、小さくなったり消えそうになったりすることもあります。またある時には、励まされ、勇気づけられて、元気よく燃え上がる時もあるかと思えます。「意気消沈し、元気を失っていた弟子たちに、聖霊が与えられた」というのは、彼らの中の霊の火が、再び大きく燃え上がったということであって、そこでは彼らが忘れていたイエス様の約束、即ち「私はいつもあなたがたと共にいる」(マタイ 28:20)、「父はもう一人の助け手(聖霊)を遣わして、永遠にあなた方と一緒にいるようにして下さる」(ヨハネ 14:16)という約束が、まさに実現したのだと彼らには実感されたのではないのでしょうか。

このペンテコステの時、私たちは特別な力を求めるのではなく、日々に見えない力、神様からの命の息を頂くことによって、生かされているということ、そのことに改めて心を向けたいと思います。新型コロナウイルス感染症のために、世界中で多くの方々が亡くなっています。またミャンマーでは国軍による暴力は続き、パレスチナでは爆撃によって多くの命が傷つけられ、殺されています。その他、日本の中でも、仕事を失い、居場所を失い、食べ物に事欠く方々もおられます。私たちには小さな事しか出来ないかもしれませんが、たとえ小さな働きでも、無力ではないということを感じていたいと思います。

今も、小さくされ、希望を失い、恐れの中におられる方々の上に、神様からの命の息である聖霊が豊かに与えられますように。そのために私たちも用いられますようにと願っています。